

第 58 回 放送番組審議会 議事録

令和 8 年 7 月 30 日（木）
株式会社有明ねっこむ

■第 58 回 放送番組審議会

1.開催日時 令和 8 年 7 月 30 日(木)16 時 00 分～

2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室

3.出席者 委員長: 石丸 智士
委員: 松崎 義和、城戸 久信、大石 教義
(出席 4 名／欠席 2 名)
放送局: 永江 美穂 (FMたんと局長)
中原 敬介 (FMたんと副局長)
荒木 はるか (放送番組審議会事務局)

4.議題 審議番組: 「FM たんと 10 周年特別番組」(令和 8 年 7 月 9 日(木)放送)

5.議事の内容 ● 令和 8 年 7 月 9 日(木)に放送した「FM たんと 10 周年特別番組」について審議。音源について、まず事務局より概要を説明。

【放送局】「FM たんと 10 周年特別番組」は、令和 8 年 7 月 9 日(木) 11 時 00 分から 17 時 00 分まで生放送した、開局 10 周年を記念した特別番組です。本日はその番組の中から、高校生出演の部分をお聴きいただきます。日頃 FM たんとで番組を届けている高校生番組の中から今日は 4 校(柳川高校・岱志高校・大牟田北高校・明光学園)から生徒をゲストに迎え、各校の番組紹介やメンバー構成を紹介した場面をお届けしました。あわせて、10 年前の 7 月 9 日 開局当日のオンエア音源を振り返る構成としました。パーソナリティは Sachi とゆうき a.k.a 地球です。

● 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて放送局からの発言があった。内容は以下の通り。

【委員】10 年前の開局当日の音源と現在の放送を並べて聴くことができ、パーソナリティの表現力や進行の落ち着き、番組全体の完成度が 10 年間で着実に育ってきていると感じました。

【委員】高校生ゲスト回のパーソナリティの運びは安定しており、聞きやすい構成でした。楽しく聞ける放送だったと感じまし

た。これからも15年、20年と、リスナーに喜んでいただける放送を続けていってほしいと思います。

【 委 員 】 高校生ゲスト回について、話し手ごとに声のトーンや音量に幅があり、聞き分けやすい場面がある一方で、少し落ち着いた声で聞き取りづらい場面もありました。マイクの音量バランスや、収録前に声の出し方を進行側から一言そえるといった工夫があると、より聞き手に届きやすくなると感じました。

【 放 送 局 】 10年の節目に、開局当時の音源と現在の放送を並べて振り返ることで、番組の歩みを委員の皆様感じていただけたことは、放送局にとって励みとなります。開局から10年、リスナーの皆様、スポンサーの皆様、審議委員の皆様を支えていただき運営を続けてこられたことに、あらためて感謝申し上げます。

ご意見をいただいた音声面については、話者が多い放送における収録前のマイク配置・音量バランスの確認、また出演者の声の出し方を進行者からうながす運びを、意識して取り組んでまいります。開局10周年を機に、番組編成の見直しやパーソナリティ募集も進めており、地元密着の放送づくりに引き続き取り組みます。

6. 次回の会議 令和8年9月末を予定

7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和8年8月6日掲載)